くみあいNEWS

第　１５３４３　号
2024年3月12日（火）
発　行　責　任　者
日本製鉄和歌山労働組合
組　織　教　宣　部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ　組合 LINE

代表内線番号　和歌山地区（本部）（54）－3590
堺地区　652990／海南地区（54）－5555

箇所長へ申し入れ書を提出

去る３月１日（金）に、関西製鉄所和歌山地区の箇所長に対し、「労働協約と付帯する協定の改訂に関する申し入れ書」を提出しました。

本取り組みは、中央交渉を支える観点から、和歌山労組として今次春季取り組みの要求に込めた組合員の思いを伝え、関西製鉄所和歌山地区としての可能な限りの対応を要請するべく実施しているものです。



田下部長と中濱組合長

はじめに、申し入れの主旨を中濱組合長より説明したあと、衣笠所長の代理である労働・購買部の田下部長に手渡し、それを受けた田下部長より「人への投資に関して、労使ともに共通の課題であると認識している。本日いただいた今次要求に対する組合員の思いを関西製鉄所として受け止め、全社で真摯に議論する」との見解が述べられました。

また、グループ各社および、関連協力企業のすべての働く人が「日本製鉄グループに勤めていてよかった」と実感できる労働条件の底上げに向け、箇所としての配慮と対応を会社に求めました。

納得ある回答に向け一致団結！！





組合会館

去る３月１日（金）に和歌山労組はNSGR加盟組合と共催で AP24 春季取り組み決起集会を執り行い、今次春季取り組みにおける納得ある回答を目指し、要求貫徹に向けた意志統一を図りました。日本製鉄労連は今次取り組みにおいて、組合員一人ひとりの活力発揮と優秀な人材の確保・定着に向け約 50 年来の高額要求である30,000円や、休日増・各種諸手当の改善を要求しています。回答が示される最後の最後まで単組・支部一丸となって盛り上げていきましょう!!



堺地区 事務所

AP24 支部盛り上げ活動の紹介

ＡＰ２４春季取り組みがスタートしてから各支部においては、
様々な盛り上げ活動が行われています。

●●● 中径製品支部 ●●●

中径製品支部では２月２７日（火）と２月２８日（水）に社員倶楽部で労使共催の餅まきが行われました。

冒頭、坂口支部長からは、組合員の皆様に対し、組合活動に対する協力のお礼と、ＡＰ２４春季取り組みへの積極的な参加をお願いしました。餅まきがスタートすると、集まった参加者たちはまかれるお餅やお菓子を楽しそうに拾い集め、会場は熱気と歓喜に包まれました。最後に松本工場長から挨拶があり、労使共催で開催したことで、工場の一体感を強化することができたと述べられました。







●●● 海南整備支部 ●●●

海南整備支部では２月１９日（月）から３月４日（月）にかけて、ダーツ大会を開催しました。ダーツの矢を３回投げ、合計得点で順位を競うルールで行い、上位の賞品はもちろん飛び賞や参加賞も多数用意されていました。ゲーム開始前には、参加者同士でフォームや立ち位置を確認し、一投一投に気合いを入れながらダーツを楽しまれており、高得点が出るとみんなで盛り上がる様子がみられました。







組合が会社に指定した回答日は３月１３日（水）です。
各支部におかれては、回答が示されるまで盛り上げ活動をお願いします。

「生活総点検活動」要望改善の報告

生活総点検活動であげられた、「セブンイレブン岩出市中黒店の南側にある調整池側溝にゴミが詰まり水が排水されにくく不衛生」との要望に対し、吉本議員より岩出市役所を通して、管理業者に対し適正な管理を行うよう指導していただきました。その結果2023年11月30日にゴミ等の撤去及び清掃が行われ、詰まり等は解消されました。また、ゴミの投棄防止策や定期的な清掃も行っていただくこととなりました。

今後も生活総点検活動の進歩状況について組合ニュースで発信していきます。



岩出市議会議員
吉本勧曜



清掃後の調整池

安全な職場環境づくりに向け中央労使対話を開催

去る2月15日(木)に和歌山労組は中央労使対話に参加しました。

本対話は労使共通の課題である安全について、労使の垣根を超えた討論の場を設け、共通認識を図ることを目的に各箇所において開催されています。

会社からは本社の安全推進部より大野役員、日本製鉄労連より幸野会長、そして関西製鉄所の福田安全健康室長・田中労政人事室長が参加され、組合からは執行部、支部長が参加しました。

冒頭、福田室長より和歌山地区の安全活動について説明があり、災害防止対策など情報の共有化を図りました。

その後、会社と支部長との対話が行われ、「選択と集中」「6則遵守、6則再考活動」の課題などについて会社に意見提起をしました。

本対話を通じて、会社が取り組んでいる安全施策が実際に現場でどのように運用されているのかなど、組合員の生の声を支部長から会社へ届ける良い機会となりました。

関西製鉄所和歌山地区では2024年に入り不休災害が2件、軽処置災害が1件発生しており、今後も労使の垣根を超えた安全取り組みが必要となります。

和歌山労組は講内で働く方々が健康で安全に働くことができる職場環境づくりに向け、労使一丸となって各種活動を展開していきます。



働く仲間の笑顔のために！ NSGR 春季交渉研修会を開催 !!

去る２月 14 日 (水) に組合会館大会議室において５１名が参加のもと、日本製鉄グループ総連合会（以下 NSGR）和歌山ブロック「2024 年春季交渉研修会」が開催されました。

開催にあたり NSGR 和歌山ブロックの中濱代表から構成組織の皆様に対し、NSGR 和歌山ブロックの活動に対する協力のお礼と、AP24 春季取り組みの重要性について説明されました。

続いて NSGR 本部の幸野会長から「2024 年春季交渉の動向と NSGR 活動指針について」をテーマにご講演いただきました。2024 年の春季交渉を取り巻く情勢や、他産別・他企業の賃金改善の状況や日本製鉄労連が 30,000 円の要求に至った経緯などの説明がありました。

当労組としましても各加盟組織と連携を図り、回答まで単組・支部一丸となり取り組みを行っていきます。



中濱代表（組合長）



幸野会長



村田きょうこ議員 齋藤経済産業大臣に政策要請を行う！

去る２月 16 日 (金) に基幹労連は政策の推進を図るべく「2024-2025 年度基幹労連の政策」に基づき齋藤経済産業大臣に要請行動をしました。

★大臣要請のポイント★

- ●カーボンニュートラル実現の取り組みにおいて、カーボンプライシングの導入にあたっては、急激に脱炭素に移行できない業種にとって不利益とならない制度構築とすること。
- ●水素の供給能力拡大と安価で安定した調達ができるよう水素サプライチェーンの構築およびそれに必要な法整備を行うこと。
- ●鉄鋼産業をはじめカーボンニュートラルの実現に不可欠な CCS の実用化・社会実装に向け、早期の法制化と関係する産業・企業への金銭面も含めた国の支援を継続して行うこと。



左から　石橋事務局長、齋藤経済産業大臣、
津村中央執行委員長、村田きょうこ参議院議員

★齋藤経済産業大臣答弁★

ＧＸについては、排出削減だけでなく、経済成長・産業競争力強化と共に実現していく。

カーボンプライシングについては、企業がＧＸに取り組む期間をあらかじめ設けたうえで、最初は低い負担から導入する。今年度からは、先行して 10 年間で 20 兆円の投資支援策を講じ、中小・中堅企業も含めて、産業競争力を強化する観点で取り組んでいく。

水素について、先日閣議決定した２つの法案（水素社会推進法案・ＣＣＳ事業法案）は低炭素水素等の供給・利用促進を図るための事業環境整備を行う上でも絶対必要であり、ハードルもあるが一つずつクリアし、できる限り早く成立させたいと考えている。